

2024 年度

第 1 回一宮市子ども読書活動推進懇話会・会議録（要旨）

- 1 開催日時 2024 年 8 月 9 日（金）午前 10 時～11 時 17 分
- 2 開催場所 中央図書館 6 階 多目的室 1
- 3 出席者 懇話会委員：10 名、事務局 7 名
- 4 議 題 (1) 一宮市子ども読書活動推進計画の成果について
(2) その他
- 5 開 会 (事務局が開会を宣言)
新任委員挨拶
「子ども読書のまち宣言」唱和（先導は副会長）
館長挨拶
会長挨拶
- 6 会 議 (要旨)
(事務局) 議題 (1) について、推進計画の進捗状況及び目標値、取り組み状況を説明。
(委員) 小中学校の読書活動の支援事業で、予算の増額については、配送業者さんの委託費か何かの関係で上がったという事でよろしいですか。
(事務局) はい、一箱当たりの単価が年々上がってきております。
(委員) 子文で行われます子どもフェスティバル。こちらの方も昨年決算額に対して、今年度は増額になっておりますが、何かこれは特別なイベントか何かを予定されているのでしょうか。
(事務局) 特別なイベントはないですが、開催に当たって使う消耗品が年によって違いますので、多少多く見積もっております。
(委員) 家庭地域における子どもの読書活動の推進で、除籍本の配布率の件ですが、私は児童クラブで働いておりまして、昨年、除籍本をいただかないなんてもったいないという事をこの会議でお話させていただきました。職場でクラブ長に話し、ぜひ除籍本をいただいて欲しいですとお伝えしましたが、クラブの方針で受け取りませんと言われ、とてもがっかりしました。クラブによって違うと思いますけれども、60%と書いてあって、半数以上の所はそうやって受け取っているんだなと思いました。古いままの本が変わらず置いてあり、毎月団体貸出で 60 冊位はお借りしていますが、そういった本をいただく機会がせっかくあるのにもったいないなと感じました。
(会長) 図書館の方はどのように案内されるのですか。
(事務局) 市内全ての児童館、児童クラブ、保育園に、除籍本やリサイクル本の配布を実施しますので、ご希望のある所はご連絡くださいとご案内しています。昨年度の実績ですが、児童クラブは対象施設 35 のうち、受け取られたのは 21 施設です。児童館は 25 施設のうち 16 施設が受け取られています。
(委員) 私たちは子どもたちにお話を読み聞かせているグループですが、お話会のお部屋の環境について、いつも子ども文化広場図書館で照明がチカチカと不十分だったので何とかしてほしいと言っていたところ、今年ストーリーテリングにとっては素晴らしい照明、スポットライトを付けていただきました。そしてまた木曽川図

書館の方の視聴覚室ですが、カーテンが見事にきれいに生まれ変わって、今回そういう風にに使わせてもらうお部屋とか設備が改修されているのを見て、たいへんありがたく感謝しています。

(委員) 子ども読書記念行事ですけど、4館で一斉にという認識でいたのですが、意外と温度差が各図書館であるみたいで、常に図書館とボランティアが一緒になってやっているという感覚が持てるように、図書館の人にリードしていただければと思います。

(委員) 各グループで特別なお話会をやりますが、広報にどこのグループがやるというのをに入れてもらえると、ありがたいかなと思います。

(委員) 私達は、今日のお話会は子ども読書記念お話会ですと必ず言うようにしています。プログラムでも必ずうたうようにして、来てくれる人が意識できるように、せっかく子ども読書のまちですので、そういう記念行事の時はきちっと言うようにしています。

(会長) 取組状況の2ページの一番上にある、「図書館ネットワーク交流会の開催」で読み聞かせボランティアのスキルアップ講座の中で参加者の学校図書館、児童館、ボランティアの交流を行うと書いてありますが、これはどんな内容で、どんな雰囲気だったのでしょうか。

(事務局) 毎年、ボランティアさん向けのスキルアップの講座はやっておりますが、昨年度はエプロンシアターの講座をやりました。それぞれ普段活動している所が違う方が一堂に集まるということは、なかなかない機会ですので、スキルアップの講座をやった後に、ここ数年交流会をやっていきます。大体30分位で、講座が終わった後に、小さなグループに分かれて講座の内容を話し合ったり、普段の自分たちの活動や困っていることなどを話し合ったりといった交流をしていただいています。

(委員) 小学生とか、中学生、高校生、一日図書館員体験と言うのが、中央や子文であります。市内の中高生対象ってかなり範囲広いんですけど、毎年4人か5人、そしてまた日にちも12月の日曜日という事で、冬休みでもないし、夏休みでもないというところの、その時の実施というのに理由はあるのか、この人数が最大限なのか、どういう現状なのでしょうか。

(事務局) 日程につきましては、例年12月の最初の日曜日という事で、もう何年も前からやっています。定員は5人で毎回やっています。

(委員) よく夏休みになると、特に中学生ですかね。職場体験とかで、色んな所でやっていますが、図書館の簡易体験と言うのは、夏休みとか冬休みに実施するという計画は、今の所ないという事ですね。

(事務局) 夏につきましては、他のイベントがたくさんありますので、この中高生一日図書館員体験を夏にずらすというのは多分難しいと思います。あと職場体験ですけども、今は中学校の方も大分変わってきてまして、昔は必ず夏休みに2校とか3校とか来ていましたが、時期をずらされる学校もありますし、職場体験自体やられない学校があるのか、ちょっとその辺は分かりませんが、今年については夏休みには1件もないです。

(委員) ちょっと現状が分かりませんが、コロナ禍で一旦停止した所のものを、どう復活させていくかという所のものが、かなり多くて、これは職場体験とか、体験もの

以外の物も全部そうなんですけれども、ちょっと個別の学校の事情が入るのかなと思います。

(会長) 子文で一日図書館員体験じゃなくて半日だけ、小学生が体験して、ああ短くて良いなあと思ったんですよ。でもなしになったんですよ、子文は。

(事務局) いえ、尾西と交互にやっています。今年度は子文でやります。

(会長) そうですか、失礼しました。

(事務局) 結構人気がありまして2日間12人の枠の所を40人応募がありまして、抽選で決めました。

(委員) 出張ビブリオバトル講座ですけれども、これは学校へ出張という事で、とても楽しそうだなと思うんですが、どんな雰囲気なのか教えていただきたいなと思います。

(事務局) 出張ビブリオバトル講座は、小学校に対して最大6校まで募集をしています。応募された学校にスタッフが出向きまして、スタッフがビブリオバトルとはどういうものかを説明して実演をします。読みたくなった本に投票するというゲームになりますけれども、投票するのを子どもたちにやってもらう形になります。

(委員) この出張ビブリオバトルの講座は何人位のスタッフが行かれるんですか。

(事務局) 委託先のスタッフが4名と市職員1名で行きます。

(委員) 時間としてはどれくらい。

(事務局) 授業中にやるので、1時間の授業なので45分か50分でやります。

(会長) よむりん読書通帳はどうでしょうか。小学校に配布とありますが、いついただけるんだったっけ。

(事務局) 小学校1年生の方に学校を通して6月にお送りしています。

(会長) こども読書のまち宣言もしているのもうちょっとPRできるもので予算が取れると良いですね。

(委員) 広く市民に向けて、こども読書のまち宣言をしている一宮市の図書館として、例えば著名な絵本作家さんであるとか、ちょっと知られている方を何かの記念で呼び出すとかいうプランはないでしょうか。図書館の開館何周年とか。こども読書のまち宣言をした何年記念とか、何かございませんか。何か一回ご検討を。

(委員) 何周年記念の事業とか、そういう予算が一番取りやすい。

(会長) では何とか記念行事が出来るような方に行く事を願って、色々ご意見やご要望が多く出尽くしたようですので、これで議題の1の方は閉じさせていただきます。それでは次に議題2の事について事務局からお願いします。

(事務局) 次回の子ども読書活動推進懇話会の開催につきましては10月頃を予定しております。詳細が決まりましたらまたご連絡させていただきますのでよろしくお願いいたします。これを持ちまして本日の会議を終了いたします。長時間にわたりご審議頂き、ありがとうございました。